

学校名	浪合中学校	
ホームページ	http://www.iida.co.jp/~namiai.index	生徒数 32名
(1) テーマ 「念流太鼓を学ぶ」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 2, 3 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい 村に伝わる念流太鼓を学ぶことを通して、保存会の人たちと交流を深めたり、太鼓の技能を磨いたり、村の一員としての自覚を養う。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・グループの代表者が指導者の方と毎回連絡を取り合い、練習する。 ・村の演芸会や学校の文化祭等で発表の機会を持つ。 ・必要に応じて自分たちだけの練習の場を設定し、行う。 時数(40予定)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・保存会の人の中で、指導していただける方をお願いをして指導してもらっている。 ・顧問の教師が1名つき、全体の進行状況や指導者の方との細かな打ち合わせ、活動を振り返る場などについて指導する。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・年間40時間の予定で始めている。 ・文化祭の折りには、音楽会の出演種目として設定していただくよう担当の先生と連絡を取り、生徒代表に方法について相談するように指導した。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・生徒の意欲を中心に据え、生徒と対話しながら学習の内容、方法を決めている。 ・生徒の活動を毎回、できるだけ記録を取るとともに、人としての成長が見られる点や学習が伸長した点を話したり、自己を振り返られるように助言したり、場を設定し、その内容を評価としている。		
(8) 成果と課題 ・積極的に指導者と連絡を取り合い、練習内容を決められるようになった。 ・発表できたことが自分自身の自信として位置づいてきている。 ・グループ間で必要な打ち合わせや協力体制が自分たちでとれるようになった。 ・村の演芸会での発表において、村の一員としての参加意識が高まるとともに、周囲の方への感謝の気持ちを持ってきている。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境
ーエ 福祉・健康 ーオ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題